



## アイコクアルファ新工場

重量物搬送用  
ハンドクレーン 愛知・祖父江に竣工

【名古屋】アイコク

アルファ（愛知県稲沢市、樋田克史社長）は、重量物搬送用ハンドクレーン「ラクラクハンド」を製造、開発する新工場を1日に竣工する。投資額は約40億円。老朽化していた愛知県一宮市の旧工場から同稲沢市祖父江町に移り、生産能力の向上と供給体制の強化を図る。5月18日に稼働

する。新工場「祖父江ラクラクファクトリー」写真の住所は、愛知県稲沢市祖父江町山崎下栂225の1。延べ床面積は約8500平方メートル。総敷地面積は約2万5000平方メートル。2階建てで、1階は工場と展示場、2階は事務所と応接・会議室、食堂などを備える。ラクラクハンドは重

筋作業を軽減するための助力装置。自動車の組み立てラインをはじめ、製造現場や物流現場で多数の採用実績がある。新工場では開発、製造、営業機能を集約し、迅速な製品開発体制を実現する。今回の移転により、同社の全事業部の拠点が創業の地である祖父江町に集結した。地域とのつながりをさらに深め「50年先を見据えた持続的な企業活動と地域発展への貢献を目指す」（アイコクアルファ）としている。